



ルピナス

2014年4月 第5号



医療法人金澤会
青磁野リハビリテーション病院
看護部広報紙 一年2回発行—

- 外来・健診センター
- 回復期リハビリテーション病棟（北病棟）
- 障害者病棟・亜急性期病床（東第1病棟）
- 一般病棟（東第2病棟）
- 介護療養病棟（南第1病棟）
- 医療療養病棟（南第2病棟）

連載 知ってほしい！！みんなの職場 —各部署の紹介③—

看護部職員が所属している機能別に分けられた部署の特徴を第3号から3回に分けて紹介してきました。第3回目は、南第1病棟（介護療養病棟）・南第2病棟（医療療養病棟）です。

南第1病棟（介護療養病棟）



要介護認定を受けた方が介護保険を利用し、療養や在宅復帰、施設入所の準備を行う病棟です。ショートステイの受け入れも行っていきます。看護師10名・介護福祉士14名・ケアマネージャー1名により、患者さんの日常的なケアと医療的ケアを行っています。100歳を超えている方もいらっしゃいます。レクリエーションとして、毎月の誕生会や季節の行事、時には病院の外に飛び出して、桜や紅葉などを見に行くこともあります。その時にみせる皆さんの笑顔を見ると、こちらまで笑顔になり元気をわけてもらっています。

南第2病棟（医療療養病棟）

慢性期の継続治療が必要な患者さんの治療と在宅などへの退院を調整する役割を持っている病棟です。看護・介護26名のスタッフで、「患者さんを中心として、笑顔とポジティブ」をモットーに毎日元気に働いています。日常生活の援助が必要な患者さんも多いですが、看護・介護はもちろん、リハビリや栄養士とも連携して安全・安楽に過せるように日々努力をしています。どうぞ宜しくお願いします。



新人研修スタート！“新人さんファイト！！”

新しい環境や職員に早く馴染み、不安なくスタートが切れるよう、4月に入職される看護師を対象に毎年開催しています。

今年は3月26日から29日まで、4日間の日程で看護部の方針をはじめ看護・介護技術、老年看護など幅広く研修しました。

新人も講師も、入職前から関わることで顔見知りとなり、仲間としての関係作りが出来ているようです。その後も研修は続きます。



▲腕モデルを使って点滴演習

看護師からのお知らせ 糖尿病教室 始まります



H26年度から糖尿病チームによる**糖尿病教室**を年5～6回開催します。糖尿病の方やご家族はもちろん、特に医療（医師・看護師以外）・介護従事者を対象とした教育を考えています。教室では、糖尿病に関する知識や実践的なこと、皆さんが“聞きたい！取り上げて欲しい！”と思うことを盛り込んだ企画を行っていきます。多くのみなさんのご参加とご質問お待ちしております。

第1回目を**5月10日（土）城西地域コミュニティセンター**にて開催します。

手話でコミュニケーション 北病棟 加納看護師 にインタビュー

手話は小学校の時の友人の耳が聞こえず、コミュニケーションを図るために自然に学ぶようになったそうです。

看護学校時代には地域の手話サークルにも通ったとのこと。「手話にも年代差や方言があり、微妙に違って難しい。今後は日常会話だけでなく医療用語なども学んでいきたい」と話されました。手話に興味を持つ方が増えてほしいものです。



看護部スタッフ全員で

新人職員サポート！！

新人職員を指導する担当者（＝プリセプター）を対象に新人教育体制の理解を深め、統一した手順で指導ができるように1月から3月まで研修会を行いました。又、今年度は部署全体での支援強化を図るために、プリセプター以外のスタッフに対しても研修を実施（パートナーシップ）。1人1人が新人職員を支援していくことの大切さを認識し、技術面の手順確認を行うことで、自信を持って指導出来るようになったようです。

新人職員の大切な時期を看護部全体でサポートし、お互い成長できるよう頑張っていきます。



正しい心肺蘇生法の習得

救急蘇生チーム



▲人形を使って実演

心拍と呼吸の停止から、10分以内に心肺蘇生が開始されなければ、救命はほとんど成功しません。

看護師のみならず職員全員が心肺蘇生法（一次救命処置）を習得し、万が一の場合でも自信を持って正しい救命が出来るようになることが大切です。各部署において蘇生法の講習会を実施中です。

春メンタルにご用心！

春は気候はもちろん、進学や就職、異動、引越など「変化」の季節です。気温差に伴う体温調節や新しい環境での心の疲労など、突然の変化に対する順応力が低下し、体と心にストレスを与え、メンタル面を支える自律神経も乱れがちになります。

心のバランスを整えるには

- ① “起きる・寝る・朝昼夕の食事時間をできるだけ同じにする
- ② 栄養バランスの良い食事
- ③ 休日をのんびり過ごす
- ④ 薄物の重ね着をして体温調節する
頑張り過ぎず、ちょっと一休みを心がけて生活しましょう。

心地よい歌声届きました

関島秀樹さん・堀川誠さんより



3月27日カームガーデンにてテレビでもご活躍中の関島さん達によるボランティアコンサートが開かれました。会場には患者さんやご家族、中には追っかけの方もいらっしゃいました。心地よい楽器の音色と歌声が響き、患者さんの笑顔が広がって、春の訪れを感じたひとときでした。

早期で安心ある受け入れ体制

早期入院受け入れのため、毎朝の医局会や師長会、そして毎週火・金曜日には多職種参加の入退院調整会議を開催しています。

急性期病院、地域の病院などからご紹介の患者さんについて入院前の状況から現在の病状経過、患者さんやご家族の思い、不安などについて情報を共有し、安心して入院できる体制を取っています。



南第1病棟 レクリエーション “鬼はそと～福はうち～”

入院中の患者さんに季節を感じてもらいたいと思い“豆まき”を行いました。職員1人が鬼になり、患者さん1人ずつ日頃の思いなどを声に出しながら、豆を投げてもらいました。みなさん喜ばれ、笑顔がはじけていました。今後も四季に応じたレクリエーションを企画していけたらと思います。

只今、地域における当院の役割を充分発揮できるよう、病棟の再編成を検討中です。



行事予定

平成26年4月

- 入社式（1日）
- 新人集合研修（1日～3日）
- 看護部勉強会（10日）
- 明日の看護を考える会（23日）
接遇マナー「医療人としての心構え」

- 職員研修会（30日）
「倫理・レットミー ディサイド 個人情報保護について」
- 明日の看護を考える会（偶数月）
- ふくし相談会（毎月1回開催）
- 栄養教室（毎月1回開催）
- 療養病棟お誕生日会（毎月1回）

5月

- 糖尿病教室（10日）
- 看護の日（12日）
看護週間（11日～17日）
- 看護部勉強会（8日）
- 職員研修会（9日・14日）
「標準予防策と針刺し」
- 職員研修会（30日）
「急変時の対応（一次救命について）」

6月

- 看護部勉強会（12日）
- 職員研修会（11日・27日）
「医療安全について」

7月

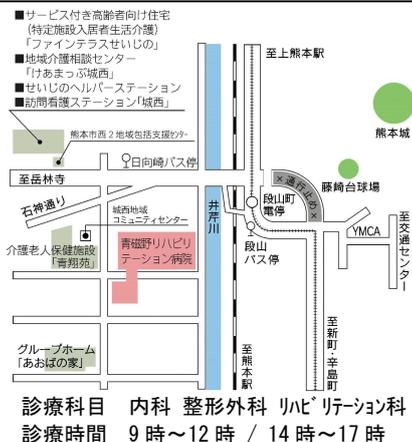
- 看護部勉強会（10日）

8月

- 創立68周年記念式典（3日）
- しまさきサマーフェスティバル
- 看護部勉強会（14日）

9月

- 看護部勉強会（11日）



発行 医療法人金澤会
青磁野リハビリテーション病院
看護部広報委員会
〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15
TEL 096-354-1731 FAX 096-354-1736
ホームページ <http://www.seijino.or.jp/>